

msn ショッピング 激敵な女性を目指す人を応援する Web 検索  
 【注目】金利で選ぶならオリックス。VIPローンカード ローンカードを「クリック」  
 なら実質年率8.7%~12.6%【入会金 年会費無料】 **金利で選んでみませんか?**

チャンネルトップへ  
 金持ちビジネスマンが密かに実践するルールとは  
 巡らめしする? x  
 現金100万円 GO  
 バックナンバー  
 田口ランディ  
 M・キーン  
 茂木宏子  
 佐保 暢子  
 鈴木 真二  
 伏木 孝  
 ショートコラム  
 ニュースセレク  
 ト  
 フォトジャーナ  
 ル  
 カルチャーコラ  
 ム  
 辛口映画評  
 ニュースなひと  
 こと  
 メール配信サービス

## 言葉なき動物の代弁者——アメリカの動物擁護団体の活動から (2)

2002年6月12日 吉田 朱見

動物愛護というものを考える時、どこにラインを設定するかという疑問に突き当たる。つまり、どこまでが愛護すべき動物と状況であって、どこからがそうでないのかという問題だ。

**前回の記事**  
 ▶ [言葉なき動物の代弁者——アメリカの動物擁護団体の活動から \(1\)](#) (5月8日)

「言葉なき動物の代弁者——アメリカの動物擁護団体の活動から (1)」に対して、読者からいただいた意見の中にも「なぜ、野生動物は殺してもよくて、ペットはだめなのか?」、「大量にゴキブリを殺す薬が喜ばれて、なぜ犬を虐待すると"かわいそう"ということになるのか?」という類のものが多くあった。

読者の名誉のために付け加えておこうが、こうした疑問を投げかけた人達が動物虐待を肯定しているわけではなく、疑問に対しての論理的な説明を求めているだけである。

前回紹介したようにPETA(People for the Ethical Treatment of Animals/連絡先は文末参照)は、道徳的な正しい動物の扱いを求める全米組織の非営利団体である。

上記の疑問について同団体のリズ・ウェルシ氏は以下のように答えている。

### ●どこまでが動物愛護か?

「動物には公平な配慮が与えられる権利がある。例えば、不必要な痛みを犬に与えることは、その犬の権利を無視していることになるのだ。PETAが行おうとしているのは、その動物の持つ権利を最大限に尊重することである」。

さらに、人間がその動物を害獣だと思おうが、醜いものだと思おうが、それには関わりなく、どんな動物にも不必要な苦しみを与えることは許されないと説く。が、「だからといって、自分が攻撃下にある時に保身してはいけない」という意味では決してない。それは熊に襲われた時でも、強盗に襲われた時でも、のみに刺された時でも同じである」。

ここがキーポイントとなる。つまり自分を守るためにその動物を殺さなくてはならない状況も起こりえるといっているのである。ただし、PETAでは、人間の命もしくは権利を防御するためという状況が生じた時でも、可能である限りその動物の命を奪わなくてよい方法、つまりは慈愛のある方法を選択することを強調している。

PETAは、ペットと呼ばれる動物だけでなく、野生も含めた全動物の権利の尊重を唱える団体である。それゆえ、例に上がったゴキブリについてもユニークな答が返ってきている。少々余談になると思われるが、ゴキブリについてこのような解釈を聞くのは珍しいことだったので紹介しておく。

「ゴキブリは元来、やさしく、他に害を与えない昆虫である、といえれば多くの人は驚くだろう」

確かに驚く。攻撃的だとは思わないが、あの姿を思い浮かべるとどうしても他に害を与えないという言葉がピンとこないからである。しかし、約4000種類に上るといわれるゴキブリの中で、害虫とされるのはわずか1%以下という。

「ゴキブリは汚い虫ではない。ゴキブリは足に生えている毛で始終自分の体をこすって、体に着いたゴミやちりを落としてきれいにしている」

猫が自分の体をなめてきれいにすると同じことだというのだ。しかも、ゴキブリによって人間に伝染する病気はないという。

ゴキブリ捕獲の道具を使わなくても、食事の残り物や汚れた食器などをきちんと処理し、家の中に空いている不必要な穴、どんな小さな穴でも見落とさず塞いでしまえば(まず、これが不可能ではないと思われるが)、ゴキブリの侵入は防げるということであった。

人道主義者として知られるアルバート・シュワイツァー氏をご存じの方も多いと思う。人間、動物両方に対して、大きな愛情を注いだ人である。もし彼が、熱い歩道にミミズが横たわっているのを見たら、わざわざ屈んでそのミミズを拾い上げ、土のあるところに戻してあげただろう、とウェルシ氏はいう。

シュワイツァー氏くわく、「日々起こる問題を把握し、自分の義務を知ることが大切。何事も杓子(しゃくし)定規にこれがよくてこれが悪いと決められるものではない。だからそれぞれの事柄を、できる限り賢明に、そしてできる限り慈悲深く、判断し対処していくことが必要なのだ」。

「我々にすべての"苦しき"を止めることは不可能なことは分かっている。だからといって、何もしなくていいというわけでもない。現代は、我々にはいろいろな意味で多くの選択肢がある社会になってきている。そんな中、食べることにしても、着ることにしても、娯楽することにしても、動物を殺さなければ得られない方法より、もっとやさしい人道的方法を選べるはずだ」とウェルシ氏は締めくくっている。

### ●PETAが人々を振り向かせるわけ



▲▼毛皮を作るためには動物の体をなるべく傷つけない方法で、動物を捕獲する必要があるため、多くの場合、こうしたわなを使用する(画像をクリックすると拡大表示します)。

アメリカで初めて最高裁判所において"動物虐待"に対する有罪判決を勝ち取ったのがPETAであることは前回、述べたが、その他にも同団体の勲章ともいえる活動がある。その中にはスパイを用いて実態調査をし、証拠写真やビデオを取るなどの手段を用いていることも多い。例を上げると、有名大学であるペンシルバニア大学の頭脳損傷を研究するラボにおいて実験用動物を相当に惨く扱っているとして、70時間にも及ぶ証拠ビデオを撮り、その結果、同大学に罰金刑が下ったばかりか、実験動物の使用が禁止されている。GMという大企業を相手にしたこともあり、これは同社の衝突実験に生きた豚やファロットを使用していたことにPETAが抗議したもので、これも同団体が勝訴している。

最近では動物実験を行っていないという証拠マークを付けた化粧品類が出回っているが、これにもPETAが大きく関与している。大々的に繰り広げられた動物実験に反対するキャンペーンによって、ベネトン(ベネトン)は金輪際、動物実験を禁止することを発表した。続いて、エイボン、レブロン、エステローダ(レブロン)がこれに続いた。キャンペーン開始から4年後には、最大の化粧品メーカー、ロリエールが遂に折れ、長年抗議を受け続けたジェレットも動物実験の停止を宣言している。現在、PETAのリストには、動物実験をしない化粧品メーカー550社の名前が並んでいる。

あげ出せば切りがないので、これくらいにしておこうが、PETAが目立つ理由は、少々過激といわれようが、大企業や勝ち目のなさそうな強力団体を相手にしても決してひるまないところにあり、それが動物愛護団体の多いアメリカの中でもPETAを一際輝いた存在にさせているのだ。

### ●サーカスは是か否か、PETA対リングリング・ブラザーズ「スパイ大作戦」



▲サーカスなどでこうした不自然な姿勢を強制され続けた熊は、関節炎を煩う可能性が高いという(画像をクリックすると拡大表示します)。

PETAの功績ばかりを並べるようなかたちになったが、これだけ力のある団体でも、勝ち続けているわけではない。

同団体は、基本的に動物を余興に使うことにも反対しているので、動物を不当に扱っていると判断するサーカスなども同団体の攻撃の対象となる。有名なものでは、リングリング・ブラザーズ・サーカス相手に起こされた裁判が有名だが、これには敗訴している。同サーカスは日本でも有名でその名を知る人も多いと思うが、リングリング・ブラザーズ・サーカスを所有するフェルド・エンターテイメントは、その他にディズニーショー・オン・アイスなど、多くのショーグループを持つ世界最大のライブ・エンターテイメント・カンパニーである。そのフェルド・エンターテイメントの会長兼社長のケネス・フェルド、その他3名を、PETAはバージニア州のフェアファックス郡において起訴したのである。

この顛末(てんまつ)はこうである。例によってPETAのスパイがリングリング・ブラザーズにおける動物虐待の証拠と写真を入手し、それを世間に公開したところ、フェルド側は、もとCIAであるクライア・E・ジョージという人物を雇って、電話盗聴やビデオテープなどで逆にPETAをスパイさせたり、証拠書類などを盗もうとしたというのがPETA側の言い分である。さらに、PETAは以前、ラスベガスのエンターテイナー、ポビー・ペロッシェニが芸に使っているオラウータンを常時、金属の棒で打ち据えたりという虐待を行っているとして、その証拠写真を公開したことがあるが、フェルドはこのペロッシェニに料金は持つからということで、PETAを訴えることを強く薦めたという(その証拠をPETAはつかんだとしている)。どうであろう。ここまでくると、もうスパイ大作戦も顔負けの世界である。

PETAとリングリング・ブラザーズの言い分は次のように正反対である。リングリング・ブラザーズの「ここで人間と動物との関係は、尊敬、信頼、そして愛情に基づいたものだ」という言い分に対して、PETAは「我々が写したビデオでは、ゾウはむちで打ち据えられていたばかりか、金属でできたフックで引きずり回されていた」。

同じく前者が「我々のUSDA(U.S Department of Agriculture/衛生面や動物の扱いなど、全般に關しての視察・点検を行う)による検査報告書は満点だ」といえば後者の談は「連邦の検査官は、同サーカスが最低限の規則すら守っていないことを明かにしており、動物に対して不必要なストレス、身体的な虐待を与えたこと、獣医の検査を受けさせていないこと、適度な運動をさせていないこと、十分なスペースを与えていないこと、などすべての点において、落第点ばかりだ」。

サーカス側は「野生の動物を捕獲してサーカスに連れてきたことは1度もない。しかもここでこうしてゾウを生かしてやっているから、アジアゾウが絶滅することなく済んでいる」と主張し、PETAは「出生や死亡、捕獲などを記録しているアジアゾウの地域血統台帳によると、同サーカスのほとんどのゾウは野生で捕獲されたものだ。しかも、2000年には、密猟者が60頭もの雌ゾウを殺し、子ゾウを奪ってエンターテイメント関連の団体・企業に売り飛ばしたという統計が報告されている」と反論する。

「我々の訓練士がショーのために動物に教えているのは、それぞれの動物の本能による行動や特性を考えたもので、無理をさせているわけではない」とサーカスが言えば、「では、どこに自転車にのる野生の熊がいるのか? 自然の中で逆立ちしているゾウを見かけたことがあるか? 野生のトラは間違っても火のついた輪っかをくぐらうとは思わないだろう。こうした不自然な行為を行わせるために、鞭や電気ショック、口輪などを使って訓練し、50週間も続けて芸をさせている」という。

ショッキングなのはPETAが「しかも、リングリング・ブラザーズは、小ヤギの角を手術によって移動させ、1本を頭のまん中に付けて、それを"ユニコーン"としてショーに参加させた」とコメントしたことだ。



▲リングリング・ブラザーズ・サーカスの動物の扱いに対する抗議のキャンペーンを繰り広げた時に使ったPETAのポスター(画像をクリックすると拡大表示します)

フェアファックス郡においての裁判では、敗訴したものの、PETAは新しい証拠を入手しており、同サーカスとは戦い抜く姿勢を示している。PETAが挙げていた証拠のひとつとしては、同サーカスの内情を本にしようとしたあるライターをフェルドは5年にも渡って営業妨害していたというものがある。これにも前述のもとCIA、ジョージが絡んでいる。この真実は別として、このライターへの営業妨害の件に関しては、ジェフ・ステインというライターも以前に記事にして発表している。

日本でも、特に大型のサーカスといえ、今でも子供達には人気だろう。しかしここに挙げたPETAの言い分を聞けば、ほぼ全部のサーカスが動物に不自然な行為を行っていることになる。双方が満足できる答えを見つけ出すのはそう容易ではなさそうだ。

PETA連絡先：  
 501 Front St, Norfolk, VA 23510  
 Tel: 757-622-7382  
 Fax: 757-622-0457